

## 「厚生労働省」ヒアリング事項

### ライフ・イノベーションによる健康大国戦略

- 先進的な医療技術の研究開発や、ドラッグラグ・デバイスラグの解消に向けて、専門性の高い医療機関を「機関特区」に指定し、規制緩和と一体となった環境整備を図るべきではないか。また、その際、その成果が特区以外の医療機関にも活用されるような設計とすべきではないか。
- 医療ツーリズムの推進については、規制緩和等を行う医療機関を「機関特区」として認証する制度が必要ではないか。この場合、当該認証制度が国際的な評価を得られるよう、適切な認証基準を設定すべきではないか。
- 看護師だけでなく各種医療・介護スタッフの役割拡大、医療クラーク等の大幅な導入促進、医療・介護ITを担う人材の育成について大胆かつスピーディーに取組みを進めるべきではないか。

### アジア経済戦略

- 「日本をひらく」との観点から、外国人材の日本への入国のさらなる円滑化を図るべきではないか。特にEPAに基づく看護師・介護福祉士候補者が長く日本で働けるために、国家試験のあり方を見直すべきではないか。

### 科学・技術立国戦略

- 再生医療等の分野において、関係府省が連携して、基礎研究から臨床までのデスバレーを克服し、イノベーションを加速する仕組みを作るべきではないか。

### 雇用・人材戦略

- 現在の「ジョブ・カード制度」を「日本版NVQ（仮称）」に発展させるための具体的な方策・ロードマップを示されたい。
- 市場ニーズと乖離が生じている公的職業訓練制度について、専門学校等を対象に民間委託の拡大等抜本的な改革を行うべきではないか。